

# みんなの町議会



ウィズ・コロナ  
笑顔で届ける  
新鮮食材！

6月補正予算質疑 .....	4
一般質問 .....	6
議会活動報告 .....	11

# でこんなことが実現<sup>!</sup>

## 6月定例会

6月定例会は、6月15日から24日まで開会した。

令和4年度一般会計補正予算や工事請負契約の締結など、21議案を慎重審議し原案のとおり、すべて可決。

また、道の駅さんわ182ステーションなど、令和3年度の第3セクター事業報告があり、一般質問では、8人の議員から町政の課題などについてたじた。



キャッシュレス決済ポイント付与



新型コロナワクチン接種



生徒・児童ひとり1台タブレット型端末整備



ひとり10万円の特別定額給付金

### 令和4年度新型コロナウイルス感染症対策予算額 4億845万円

- 1 感染拡大防止策 1億4844万円  
(ワクチン接種、消毒液など)
- 2 事業継続・雇用維持・地域経済対策 1億1869万円  
(商品券・PayPayポイント付与、商工会支援、有害鳥獣対策など)
- 3 安心・安全な生活の確保対策 1億4132万円  
(観光施設整備、行政IT化、給食食材高騰対策支援など)

# 新型コロナ対策交付金

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用し、迅速なワクチン接種と感染予防対策、特別定額給付金の配布のほか、避難所の空調整備、学校のICT化など様々な取り組みを行った。



公共施設のトイレ洋式化、自動水栓の手洗い場



斎場やすらぎ苑 換気対策として窓改修



非接触型体温計



避難所の空調整備 (エアコン設置)

## これまでの感染症対策費

令和2年度事業決算額	13億5275万円
国庫支出金	13億754万円 (内、感染症対応臨時交付金: 3億9060万円)
県支出金	2433万円
一般財源など	2089万円
令和3年度事業決算見込額	5億551万円
国庫支出金	4億8333万円 (内、感染症対応臨時交付金: 1億8295万円)
県支出金	597万円
一般財源	1622万円

# 6月定例会で可決した 主な補正予算

新型コロナウイルス  
ワクチン接種事業

3982万円

4回目追加接種経費など

物価高騰対策  
生活者支援

8000万円

PayPay決済20%ポイント  
付与経費

商工会育成支援  
事業

500万円

10%加算し20%のプレミアム  
付こうげん通貨の発行

放課後児童施設  
管理運営経費

2762万円

旧くるみ保育所を学童保育施設  
へ改修する費用および運営費

町道維持補修経費

3600万円

アスファルト舗装の補修  
側溝・横断暗渠の補修

簡易水道施設  
維持管理経費

1222万円

安田浄水場 残留塩素計更新  
野呂谷 ヒ素除去吸着剤交換  
ほか

## 6月補正予算質疑

有害鳥獣対策

林 議員 有害鳥獣対策のために採用される地域おこし協力隊の役割とスキルは。

産業課長 有害鳥獣の捕獲・駆除や捕獲後の個体処理を担う。資格は持たれていないので、資格取得も支援していきたい。

交付金  
保育士処遇改善

久保田議員 国庫支出金の保育士処遇改善交付金349万円計上しているが、処遇改善は。

子育て応援課長 指定職種は町保育士、指定管理保育士で交付金は人件費に充てる。

トイレ改修の詳細は

柏床議員 油木コミュニケーションセンターのトイレは1階と2階の両方とも改修するのか。

未来創造課長 便器の数が1個ずつ減るが、1階と2階両方改修する。

増額要因  
滞納繰越分の

柏床議員 歳入の固定資産税、前年度繰り越し分の中で、令和3年度滞納繰越分のうち未徴収額が令和2年度と比較すると2倍以上の増加となっている要因は。

住民課長 主なものとしては所有者死亡による相続放棄が要因だ。

キャッシュレス決済

柏床議員 物価高騰対策生活者支援事業のキャッシュレス決済（ペイペイ）を9月から11月まで3か月間実施予定だが、期間内に予算額に達した場合はどうなるのか。

産業課長 予算の範囲内の取り組みで、達した時点で終了予定である。

やまびこ来見館

藤田議員 学童やまびこ来見館は令和5年1月開設予定だが、工事着手は。

子育て応援課長 9月議会承認後を予定。

藤田議員 工期的に難しく思われるが。

# 議会との対話集会

あなたの声を聞かせてください

**1回目** 8月5日(金) 13:30～15:00

**2回目** 8月8日(月) 19:00～20:30

**会場** 役場本庁舎 1階大会議室

コロナ禍で2年間開催することが出来ませんでした。この度、皆様との対話集会を開催いたします。

今までおこなっていた議会報告会を一新し、皆様のご意見やご要望などお聞かせいただき町政に反映したいと考えています。

ぜひ、ご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。



やまびこ来見館に改修予定の旧くるみ保育所

子育て応援課長 社会情勢に左右されるが、年内完成を目指す。

## こうげん通貨

藤田議員 プレミアム  
こうげん通貨の販売場所は。

産業課長 商工会を中心に検討いただいている。

藤田議員 事務経費の予算は。

産業課長 プレミアム部分のみ予算化している。

# 一般質問

質疑の一部を要約してお伝えします



**問** ワクチン接種率減少の原因は

林 憲志 議員

**答** 副反応が減少の要因と思われる

**問** 本町のワクチン接種は回数を重ねるたびに接種率が下がっている。どう分析しているのか。  
**答** 町長 12歳以上のワクチン接種率は、1回目は89.5%、2回目は89%、3回目は82.6%だ。減少の理由は、熱や倦怠感・筋肉痛や関節の痛み等の発症により、接種を控えたことが原因と思われる。

**問** 子ども（5〜11歳）へのコロナワクチン接種について町の対応は。

**答** 町長 6月6日現在で300人程度が対象者で、約20人が接種。副反応を心配され接種を控える保護者がいる。接種は強制ではなく本人と保護者の意思に基づき判断するよう町のホームページにワクチン接種に関する情報を掲載し、周知している。

**問** ワクチン接種後の経過観察の内容は。  
**答** 町長 ワクチン接種後は一般の方が30分程度、待機室で一定時間様子を見る。アレルギー反応や、呼吸困難・じん麻疹・めまい・嘔吐などの発症を観察する。

**問** ワクチン接種後の死亡報告は。

ワクチン接種後の死亡報告は、

**答** 町長 医師または医療機関は予防接種法第12条に基づき国に報告しなければならない。本町では関連する事故の報告はない。

**問** 幅広作業道について

**答** 町長 昨今の豪雨などの災害で林道・作業道などの崩落があるが、作業道の設置基準は。

**問** ワクチン接種後の経過観察の内容は。  
**答** 町長 産地状況などにより複数の要因がある。路網整備に関しては「神石高原町森林整備計画」など沿って事業を実施する。



復旧中の国有林崩壊現場



**問** 油木百彩館の今後の方針は

横山 素子 議員

**答** 地域の活性化施設として検討

**問** 油木百彩館は、令和3年度決算で500万円あまりの赤字となった。経営統合後、赤字傾向が続いたため、会社から切り離すことが株主総会で決まった。  
**答** 町長 産直市場としての機能はなくすのか。  
**答** 町長 出荷者の高齢化、出荷物の減少など、産直市場としての魅力が薄れ、182ステーションのリニューアルにより、油木百彩館まで足を伸ばして頂けない状況になった。今後については、油木地区の若い方が中心となり、地域の活性化施設として検討している。



屋間でも出没するイノシシ

**有害鳥獣処理対策**

**問** 捕獲された有害鳥獣の処理対策として新たな計画内容は。  
**答** 町長 小島地区で民間事業者により駆除されている。町としては、

これに携わる地域おこし協力隊の募集や駆除個体の搬入車輛の導入支援を行う。

**子育て支援の更なる拡充**

**問** 学校給食費無償化など更なる拡充はできないか。  
**答** 町長 子どもたちが英語に触れる機会を増やしたり、自然を活かして学べるしくみや障害がある子どもの自立支援につながる取り組みなどを考えていきたい。

学校給食費の無償化は考えていない。

# 一般質問

**問** 令和4年度当初予算では、堆肥の購入補助費が廃止された。一部の農業者の方は補助の復活を強く望まれている。基幹産業は農林業であり、予算の削減は慎重にすべきだ。早急に補正予算を組むべきでは。

**答** 町長 堆肥の円滑な処理、耕畜連携の推進など、堆肥センターの経営安定を図るという当初の目的を達成し補助事業を終了した。激変緩和

## 問 堆肥の購入補助復活を

久保田 龍泉 議員



**答** 補助の復活は考えていない

措置を行い、令和4年度廃止に向け関係者へ説明を行った。

**問** 関係者とは。購入者全員に説明し理解が得られたのか。

**答** 産業課長 補助対象者は、個人や農業法人で800戸程度。堆肥センターから、購入者に説明していただいた。

## 道の駅について

**問** 道の駅さんわ182ステーションと油木百彩館支店の令和3年度の経営状況と今後の経営方針は。

**答** 町長 さんわ182ステーション全体の売り上げは5億6468万円余り、その内、油木百彩館は518万円の赤字で、全体の最終損益は150万円の黒字になった。

油木百彩館は経営継続が困難であり、道の駅と

切り離し9月末を目途に地域の活性化施設として協議している。

**問** 現在小麦が大幅値上がりし、代替品として、米粉が注目されている。コメの消費拡大、米粉の商品開発を行うべきでは。

**答** 副町長 さんわ182ステーションで町内産の米粉などを原料にした神石高原ドーナツを販売している。



道の駅さんわ182ステーションで販売中の米粉のドーナツ

**問** 道の駅182ステーション産直市場に昨年1500万円かけて整備したVRの事業内容と事業成果は。

**答** 町長 産直市場に出荷する生産者インタビュー動画1本、健康志向料理レシピと料理動画2本を作成。3DVRを導入し、産直市場店内を360度見渡し気に入った商品が即座に購入出来る仕組みを作った。

## 問 道の駅DX推進の成果は

小川 清治 議員



**答** 効果的な取り組みができていない

成果として、3DVR産直市場店内への訪問者は、月1120人、開設以降総計は1万1200人である。町のフェイスブックのフォロワー数は一年前と比べ30%増の3800人、さんわ182ステーションのフォロワー数は1500人と伸び悩んでいる。

開設後5月末までの、インターネットでの販売実績は13件、7万2000円に留まっている。本年度は効果的なサイト運営を学び適切なSNSの活用、魅力的な商品の出品など、今後の重要な販売チャンネルとなるよう投資も含めて対応する。

**問** 多額の投資に見合う成果が出ていない。サイトへの出品者選出が曖昧で、公費を使う以上公平・公正な仕組みが必要だ。今後のサイト維持運営は。



井関第2定住団地予定地

**答** 産業課長 サイトへの出品者選出は、出荷者とさんわ182ステーションと町で選出した。

**問** 井関地区第2定住団地整備事業の状況は。

**答** 町長 子育て定住促進を基本方針に整備する。

本年度は、関係者と連携し、さんわ182ステーションでの維持運営をする。

**問** 油木百彩館はどうする

木野山 孝志 議員



**答** 地域の有効的施設となるよう検討

**問** 油木百彩館は、平成30年10月より、さんわ182ステーションの油木支店として3年が経過したが、赤字傾向は種々の経営改善対策にも拘らず解消されず、令和3年度の収支決算は518万円のマイナスとなった。

このままでは182ステーションの経営を圧迫し、盤石な本体財務体質に大なる影響を与えかねない。

今後、百彩館の経営をどのように改善するのが最善の方策は。

**答** 町長 一般の182ステーションの株主総会において、9月末を目途に産直市場から新しい活性化施設として検討していく方針が示され承認された。

町としても、この件については尊重する。地域の若い方々で議論されている店舗の有効活用について、その動向を見守りながら、町も一緒にとなり、地域の有効的施設となるよう模索したい。

**問** 財政支援を保証する中で、油木地区住民

主体で組織（NPO法人など）を立ち上げ、産品ミニマーケット市場を併設した住民の集いの場としての活性化拠点施設を検討したらどうか。

**答** 町長 そういった事も含め検討していきたい。

更なる子育て支援対策を

**問** 少子化対策は重要課題であり、更なる支援拡充は。

**答** 町長 「第2期総合戦略」を策定し、進めている。

子育て支援策では、子どもたちが英語に触れる機会を増やしたり、神石高原町の自然を活かして学べるしくみ、障害がある子どもの自立支援につながる取り組みなど、若い方が住んでみたい・子育てしたい環境づくりを考えていきたい。



新展開を検討中の油木百彩館

**問** コロナ禍での物価高騰対策は

寄定 秀幸 議員



**答** 生活支援・経済対策を切れ目なく

**問** コロナ禍での物価高騰に対し、地方創生臨時交付金の積極的活用など、生活支援や経済対策に取り組みべきでは。

**答** 町長 コロナ禍とウクライナ危機により、あらゆる原材料や資機材価格が高騰している。こうした通貨のプレミアム率20%に倍増、キャッシュレス決済ポイント付与などの補正予算を上押し、切れ目のない生活支援・経済活性化対策を進

める。

**問** 学校給食費の助成を実施すべきでは。

**答** 教育長 今後、食料費の高騰が想定されており、保護者の負担増を回避するため、地方創生臨時交付金を活用し6月補正に提案する。

がん対策について

**問** 子宮頸がん予防ワクチン接種の取り組み

**答** 町長 安全性の懸念が認められないことと、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められ、令和4年4月から個別の勧奨を行うこととなった。

6月中に、接種を逃した方への「キャッチアップ接種」の通知を行い周知する。

**問** 胃がんリスク検査の導入は。

**答** 町長 令和3年度から、総合健診のオプションに加えている。国の動向に注視し進めていきたい。

**問** 胃がんの98%がピロリ菌感染が原因だ。

ピロリ菌の感染は5歳ぐらゐまでに成立するので、胃粘膜の萎縮のない若い世代で早く除菌することが大切だ。中学生への「ピロリ菌検査事業」を導入すべきでは。

**答** 町長 中学生へのピロリ菌検査事業を導入する自治体が増えていく。現在実施している自治体の情報や成果を注視し検討。



三和地区総合健診



**問** 水道広域連携、企業団への参加・不参加の判断は

柏床 由夫 議員

**答** 持続可能な水道事業が大前提

**問** 広島県水道広域連携に関し、令和4年2月以降の幹事会と協議会で協議された内容は。

**答** 町長 令和4年4月13日の設立準備協議会幹事会で、企業団の組織・職員体制と職員の身分・勤務条件が議題となった。5月には、企業団設立準備担当職員と県食品生活衛生課職員を町簡易水道施設3か所の現地案内をした。協議のほか、収支の推計や今後10

年間の事業量について県から3度の説明を受けた。6月に事業計画素案に係る事項を担当課長から説明・回答受け意見交換を行った。また、来訪した企業局長と面談を行った。

**問** 企業団への参加・不参加の検討状況は。

**答** 町長 幹事会、協議会で協議された内容と、企業団への参加・不参加の検討状況など、町上下水道運営委員会へも報告している。このような状況を踏まえ、企業団への参加・不参加の方向性を別途説明したい。

**問** 企業団設立準備担当職員と県食品生活衛生課職員は何の目的で来られたのか。

**答** 環境衛生課長 11月に企業団設立後の事業認可申請が必要なため来訪。企業団に参加が前提ではなく、県として町簡易水道の状況把握をす

るため13カ所の現地確認をされた。

**問** 何を根拠に判断をされるのか。

**答** 町長 推計値を見ながら考えている。持続可能で、安全で安心な水の供給が将来にわたってできることが大前提である。

施設整備も、新しい技術が導入されるだろうが、単独導入、広域導入も含めながら持続可能な水道事業について最終的に考えて提案する。



企業団参加後に集約対象の東南浄水場と西油木浄水場



**問** ゴミ処理の広域化に伴うゴミの出し方は

小川 善久 議員

**答** 収集や出し方は変わらない

**問** 令和6年度から福山市、府中市と共にゴミの広域処理が始まる。神石高原町は、定められた方法でゴミを分別している。ゴミ処理の広域化でゴミの出し方は変わるのか。

**答** 町長 福山市の分別区分との整合が図れること、現在の出し方は住民も理解し、浸透していることから、大きく変更することはない。

**問** 福山市は決まったゴミ袋はなく、名前も書く必要はないと聞かされた。整合とは。

**答** 環境衛生課長 神石高原町で燃やせるゴミとして収集しているものは、福山市でも燃やすことが出来るということだ。

**問** 住民感情として自分

は細かく分けているのに、他方では大雑把な分別をしているという不公平感があるのでは。

**答** 環境衛生課長 分別を緩くすると、収集後に再度町内で分別する手間と費用が発生する。

トマト専業農家への支援を考えていたが、活用は難しいと感じている。

**問** 4年前、政策企画課に企業誘致担当職員を配置し、町内企業を回った。どの企業に、どのような職員が必要かという情報は確保しているはずではないか。

**答** 副町長 町として年間の仕事が始まるかを見極める。運営の中心となる事務局長の配置も考えているが、冬の受け入れ先があれば進めていく。

特定事業協同組合

**問** 島根県津和野町の視察を踏まえ、どのように組合を設立するか。

**答** 町長 津和野町の組合は、冬場の雇用を多く確保し、年間を通じて広く雇用があった。



分別ゴミの収集車

# こんなことが決まったよ



## 主な条例の一部改正

### 工事請負契約の締結・変更

工事名：高蓋地区 水道管敷設替工事  
 請負金額：9515万円  
 請負者：広瀬建設有限会社  
 工期：至令和5年3月31日



工事名：東南油木地区（安田下）水道管布設工事  
 請負金額：6644万円  
 請負者：安田工業株式会社  
 工期：至令和5年3月31日



工事名：来見小学校体育館改修工事（工期の変更）  
 請負金額：6380万円  
 請負者：株式会社大宝組  
 工期：令和4年8月31日から  
 令和4年12月31日へ



### 条例の一部改正

神石高原町特別職の職員で非常勤のもの費用弁償に関する条例の一部を改正  
 理由：医師、弁護士、大学教授等の高度な知識と経験を有する特別職の非常勤職員に限り、報酬を日額30,000円を上限として支給できる。



国民健康保険税条例の一部を改正  
 理由：新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な傷病を負った場合全額免除など事業収入などが30%減少した者



介護保険条例の一部を改正  
 理由：新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡し、又は重篤な傷病を負った場合全額免除など事業収入などが30%減少した者



### 財産の取得

細目：29人乗りマイクロバス  
 （油木ー神石の生活交通）1台  
 取得価格：896万1700円  
 相手方：有限会社神石ミニカー商会  
 納期：令和5年3月24日



細目：29人乗りスクールバス  
 （時安・坂瀬川線）1台  
 取得価格：940万2470円  
 相手方：有限会社神石ミニカー商会  
 納期：令和5年2月28日



## 第3セクター経営状況

### ◆ 決算状況

単位：万円（四捨五入）

会社名	R3売上	R2売上	昨年対比	税引き前利益	運営補助等
(株)神石高原農業公社	6,415	7,291	88.6%	107	500
(株)帝釈峡スコラ	3,884	4,532	85.7%	137	883
(有)さんわ182ステーション	5億6,469	6億8,698	82.2%	157	1,029
合計	6億6,768	8億521	82.9%	401	2,412

コロナ禍、緊急事態宣言、まん延防止重点措置による度重なる休業、天候の不順、原油の高騰などで売り上げは大きく下がったが、コロナ対策の支援金などにより、かろうじて黒字決算となった。

(株)神石高原農業公社 トマト新規就農者の独立により売り上げが大きく減った。

(株)帝釈峡スコラ レトルト商品販売が「楽天市場」でリアルタイムランキング第1位を獲得し、順調に販売量を伸ばしている。

(有)さんわ182ステーション

【産直市場】神プレコーナーを作り好評を博している。道の駅連携も拡大し商品のやり取りなどを始めている。

【182CAFE】人件費削減のため平日2名体制で営業できるメニューなどに変更。

【ローソン】町内唯一のコンビニエンスストアとして成果をあげた。

【油木百彩館】油木高校との連携や軽トラ市を開催したが、売り上げの下げ止まりが効かず518万円の赤字となった。9月末を目途に経営から引くことを決定。

# 議会活動報告

## 地方移住の現状と課題

令和4年6月29日  
有楽町の東京交通会館8階にある、ふるさと回帰支援センターにて研修

【ふるさと回帰支援センターとは】  
地域暮らし実現にむけて地域の情報を提供し、相談者の生活スタイル・気候・地域の情報から、移住後のライフスタイルを個別に紹介する。

もともとは、定年後東京から故郷へ回帰するため、2002年に立ち上げられた。

「ターゲットを決めて対応すべし」  
就学前の子どもを持つ世代にとって、コロナ禍や環境問題は、大きな影響を与えた。

買うことしかない、消費中心の生活であることや、子どもを安全に育てることの難しさなどから、家庭菜園など「農ある暮らし」やオンラインではできない「本物の経験・体験(泥んこになって遊ぶ)」などを望む考え

の方が増えてきた。

移住希望者が必要とする要件は

- ① 働ける場所
  - ② 住む家
  - ③ 地域とのつながり
- 移住者への受け皿づくりと、町の情報発信が必要である。



河野弘樹さん (2019年移住。オリジナル革製品のデザイン・制作)

## 国会要望活動

令和4年6月28日  
入江町長とともに、広島県選出の衆議院及び参議院会館の議員事務所を訪問し、地域公共交通体系確保に対する財政支援や社会資本整備総合交付金事業予算の増額などの要望を行った。

また、同日、橋本議長、寄定副議長、横山総務文教常任委員長、藤田産業建設常任委員長、入江町長とともに、斎藤国土交通大臣に直接面会を行い、一般国道182号の機能強化について要望し、前向きな回答をいただいた。  
コロナ禍で、コロナウイルス感染予防対策を万全に行ない、今回の国会要望は意義深い活動になった。

## 国に対する意見書 6月議会

地方財政の充実・強化を求める意見書

社会保障の維持・確保、防災・減災また脱炭素化対策、地域活性化にむけた取り組みや、デジタル化推進など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、物価高騰に対する地域経済支援対策を講じ、国民を豊かにする財政出動を行うこと。

全会致

提出者 柏床 由夫 議員  
賛成者 横山 素子 議員

少人数学級、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げを求める意見書

小学校の35人学級実施に伴う、中学校・高等学校への35人学級の導入要望、複式学級の更なる充実や教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合の引き上げを行うこと。

全会致

提出者 柏床 由夫 議員  
賛成者 木野山孝志 議員

総務文教常任委員会

調査事項

特定地域づくり  
事業協同組合

島根県津和野町

令和4年5月16日

事務局長は、農協OBを配置し、設立までに、組合員や派遣労働者が十分に理解されるまで、説明が行われていた。組合員は18人で派遣労働者4人を雇用する事業体として運営されている。

また、3年間で独立できるようにステップアップも考えられていた。本町も事前の調査を行い進めるべきでは。



奨学金返還支援制度



山口県下関市

令和4年5月17日

地元企業への労働力確保を目的とし、インターン・Uターン者を支援。

地元や近隣の大学生などを対象とし、奨学金返還支援制度を受けるには、候補生として登録が前程となっている。

本町では第一目的を定住対策としているが、下関市の制度を参考にして取り組むべきでは。

産業建設常任委員会

調査事項

とまと生産者との  
意見交換会

本庁舎1階大会議室

令和4年5月13日

とまと生産出荷組合との意見交換会を実施し、現状や課題、要望などの聞き取り調査を行った。  
意見交換する中で次のような要望事項があった。

○堆肥購入に対する補助の復活。

○選果場までの距離が遠い生産者に対する支援は考えられないか。

○マニアスプレッターが使えない。

○夏場の臨時雇用者へ宿泊場所の提供は考えられないか。

○新規就農者の募集を休止しているが再開できないか。



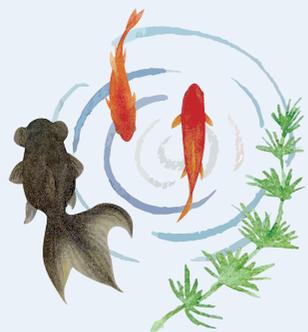
○空きハウスの活用はできないか。

○六次産業化の推進は。

今後、産業建設常任委員会として、要望事項を精査の上、課題解決に向け取り組む。

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた要望・意見・感想など主なもの



● コロナウイルスがなかなか終わりません。

3回目の接種は進んでいる事と思います。このまま若年層も進めてほしいと思います。

住民票がコンビニでも交付できるんですね。やっぱり「みんなの町議会」はだいいじですね。スミからスミ迄読んでいます。

ありがとうございます。(70代 女性)

● 町議会だより分かり易くまとめているから理解しやすいと思います。

高齢者なのでデジタル化に不安です。次回も楽しみにしております。

ウクライナとロシアの戦争、両国の平和と人の命は大切だと思います。

国民の命、兵士の命も同じです。1日も早い平和がきますように祈るばかりです。

全世界が平和になりますように。(60代 男性)

第53回 議会クイズ GIKAI QUIZ

空欄に適切な言葉をいれてください

- 1 新型〇〇〇対策交付金
- 2 〇〇〇騰対策
- 3 〇〇との対話集会

💡 ヒント 議会広報をよく読んでね!

● 応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)  
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。  
応募は、1人・1通に限らせていただきます。

● あて先

〒720-1522 神石高原町小島1701番地  
神石高原町議会事務局「第52回議会クイズ係宛」

● FAX 85-4201

● メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

- 締め切り ・はがき 令和4年8月10日(水)消印有効
- ・メール 令和4年8月10日(水)17時締切

● 個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



クイズの答え

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

- ① 令和4年度 一般会計予算

118億3000万円

- ② 旧くるみ 保育所改修 4200万円

- ③ とよまつ 総合センター オープン

第52回 議会クイズ当選者

油木地区

藤井 絹枝さん

おめでとうございます!

# 神石協働支援センター

## 事業活動再開 映画上映と認知症研修会を開催

神石協働支援センター生涯学習事業部会では、3月20日(日)に、「Fukushima」を上映し、東日本大震災での東京電力福島第1原子力発電所の事故をあらためて知る機会となりました。

6月5日(日)には、福祉事業部会主催による「認知症の理解を深める研修会」を映画と講演会の2部構成で開催。映画は認知症を患う父親とその家族の姿を描いた「長いお別れ」の上映と、認知症を正しく知るための講演会を行いました。

コロナ禍でここ2年間は人が集まることが出来ていなかったため、久しぶりの行事開催となり、どちらも多くの人にご参加いただき、「地元で映画を楽しむことが出来てよかった」、「講演がわかりやすく、認知症について理解しやすかった」、「たくさんの人に会えてうれしい」など、参加者のみなさんから喜びの声をいただきました。

これからも、地域のみなさんが必要とされる事業を実施していきたいと考えていますので、いろいろなご意見をお聞かせください。



6月5日(日)に開催した「認知症の理解を深める研修会」の様子(総合交流センターじんせきの里)

発行責任者 議長 橋本輝久  
住所/広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 0847-189-3340  
FAX 0847-185-4201

議会広報常任委員会  
委員長 小川 善久  
副委員長 柏床 由夫  
委員 橋本 輝久  
委員 寄定 秀幸  
委員 林 憲志

ロシアのウクライナ侵攻の影響による原材料価格の高騰を受けて、今月から電気・ガス、食料品など値上げ。大手調査会社によると、7・8月の2カ月で約3000品目の値上げともある。

補正予算で経済対策、物価高騰対策の予算措置をしたが、今後も、注視する状況にある。

(柏)

### 編集後記



表紙の紹介  
移動販売車により鮮魚の対面販売を行う小西さん(右)